

研究課題名：	外傷性血気胸を対象としたコアキシャルドレーンの有用性に関する後方視的観察研究
研究機関名 所属（診療科等）：	研究事務局 さいたま赤十字病院 救急科 川浦 洋征 総合研究代表者 さいたま赤十字病院 救急科 川浦 洋征
研究責任者及び職名：	さいたま赤十字病院 救急科 川浦 洋征
研究期間：	臨床倫理委員会承認日 ～ 2027年3月31日
研究の目的と意義：	外傷性血気胸に対してドレーンを用いて胸腔ドレナージを行っている。近年コアキシャルドレーンが呼吸器外科領域では使用されドレーン留置期間の短縮や入院期間の短縮など有用性が示されており外傷性血気胸に対しても意義が大きいと考えている。 コアキシャルドレーンの安全性、有用性に関して後向きに解析・検証する。
研究内容：	2020年1月1日～2025年12月31日に外傷性血気胸で当科において胸腔ドレーンを留置した20歳以上の患者を対象とする。研究対象者基本情報として年齢、性別、共存症、既往歴、治療内容、受診日、転帰、入院中に診療情報として得た生理的情報、血液学的検査情報、画像情報を利用する。 対象患者様より取得した上記診療情報を用いる、介入・侵襲を伴わない後向き観察研究。
個人情報の取り扱い	研究実施に係る情報を取り扱う際には予め患者の個人情報とは無関係な番号を付して情報を管理する。患者の個人情報が院外へ漏れないように十分配慮する。
問い合わせ先： （拒否等の受付窓口）	【研究担当者】 所属：さいたま赤十字病院 救急科 氏名： 川浦 洋征 住所：埼玉県さいたま市中央区新都心1番地5 電話：048-852-1111